

## 事業事前評価表

### 国際協力機構南アジア部南アジア第2課

#### 1. 案件名 (国名)

国名：アフガニスタン国

案件名：感染症病院建設計画

The Project for Construction of Hospital for Communicable Disease

#### 2. 事業の背景と必要性

##### (1) 当該国における保健セクターの開発実績（現状）と課題

アフガニスタンでは感染症の中でも、マラリアは年間 300 万人、結核は年間 6 万人の新規患者が発生している。また、AIDS 患者は 2,000 名程度といわれているが、対策の遅れから今後の増加が危惧されている。特に結核については、治療が難しい薬剤耐性結核の発生率が多く、多くの国では 3%以下を示すのに対して、アフガニスタンでは新規患者の 5%程度と高く、対策の強化が求められている。このような状況下、アフガニスタン政府は、結核対策を推進する国家結核対策プログラム事務局を公衆衛生省内に設置し、プログラムの運営能力の向上や専門スタッフの拡充に取り組むなど、対策を強化させているが、重篤な患者に対応する施設の不足が著しいため、これらに対応することが喫緊の課題とされている。そこで同政府から、3 大感染症、特に多剤耐性結核や HIV/AIDS 結核重複感染などの呼吸器感染症に対応するとともに、3 大感染症の国家標準検査室を有する病院の新設及び機材調達に必要な無償資金協力が要請された。

##### (2) 当該国における保健セクターの開発政策と本事業の位置づけ

アフガニスタン国政府は、2002 年に結核対策を含む 11 課題の基礎保健医療サービスを「保健サービス基本パッケージ (BPHS)」と定め、結核対策については、DOTS 等課題別の国際スタンダードを導入する取り組みを開始。2005 年にはアフガニスタン・ミレニアム開発目標を発表し、この中でも HIV/AIDS、マラリア、結核などの撲滅を目標にあげており、本事業は同国政府の開発目標に資するものである。

##### (3) 保健セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

我が国は、人材養成、公衆衛生省の能力強化、リファラル体制強化を通じた基礎保健医療サービスの拡大、他関係機関との連携を基本的な枠組みとし、「女性の健康向上」、「小児の予防可能な病気への対策」、「結核を中心とした感染症対策」、「保健サービス提供に関する実施運営能力強化」を重点 4 分野としている。本件は感染症対策に直接的に貢献する案件であり、我が国の援助方針と合致している。

##### (4) 他の援助機関の対応

他援助機関による主な関連支援は以下の通り。

世界基金：3 大感染症への資金協力、GAVI：予防接種への支援、WHO：国家結核プログラムを含む 3 大感染症対策への支援、世界銀行：国家 HIV/AIDS 対策プロジェクト支援、USAID：結核対策支援

### 3. 事業概要

#### (1) 事業の目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

カブール市において、病院建設および機材調達を行うことにより、3 大感染症、特に多剤耐性結核や HIV/AIDS 結核重複感染などの重症呼吸器感染症の検査・治療サービスの提供を図る。なお、本案件は「保健システム強化プログラム」の中に位置づけられる。

#### (2) プロジェクトサイト/対象地域名

カブール市ダルラマン地区

病院建設予定地は、現在 JICA「結核対策プロジェクトフェーズ 2」にて派遣中である専門家の配属先機関（国家結核対策プログラム）の敷地内であり、安全性は高い。

#### (3) 事業概要

##### 1) 土木工事、調達機器等の内容

【施設】 病棟部（2,760 m<sup>2</sup>、計 80 床：結核病棟 56 床、HIV/AIDS 病棟 12 床、マラリア床 12 床）、外来部（400 m<sup>2</sup>）、中央診療部（700 m<sup>2</sup>、検査部、放射線部、中央材料部）、管理部（800 m<sup>2</sup>、管理事務、医局、会議室、図書室、霊安室、託児所）、サービス部（310m<sup>2</sup>、厨房、食堂、洗濯室、ワークショップ）、共用部等（360m<sup>2</sup>、倉庫、通路、電気室・自家発電機室、塔屋）

【機材】 病棟部門用 428 点（病室、ナースステーション等の諸機材）、外来部門用 94 点（診察室、処置室、薬局、看護師夜勤室等の諸機材）、中央診療部門用 68 点（生化学・一般細菌検査室、結核培養室、レントゲン室、中央材料室等の諸機材）、管理部門用諸機材 12 点、サービス部門用諸機材 87 点

##### 2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

コンサルティング・サービス：詳細設計（実施設計）、入札補助、施工監理

ソフトコンポーネント：特になし

##### 3) 調達・施工方法

治安対策、安全管理上の制約、厳冬期の気象条件、現地の建設事情を検討する。また、アフガニスタン国又は近隣国における代理店の存在、保守管理サービスの実施状況、消耗品調達の可否ないし難易度を検討する。

#### (4) 総事業費/概算協力額

総事業費 26.442 億円

#### (5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2011 年 2 月～2012 年 12 月を予定（計 23 ヶ月）

#### (6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

カウンターパート：公衆衛生省大臣

実施機関：

国家結核対策プログラム、国家 HIV/AIDS 対策プログラム、国家マラリア対策プログラム

#### (7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

##### 1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 C

② 影響と緩和・軽減策 特段の影響はないと考えられる。

- 2) 貧困削減促進 結核患者は貧困層に多いため、感染症対策を目的とする本案件は、貧困削減に間接的に寄与する。
- 3) ジェンダー ジェンダー調査やジェンダー関連投入を必要としない案件。
- (8) 他ドナー等との連携・役割分担  
世界基金の3大感染症に対する資金協力により、高額機材や医薬品の経費を賄う。
- (9) その他特記事項

**4. 外部条件・リスクコントロール**

- (1) 事業実施のための前提条件
  - ・建設を進めるために必要な治安・安全が確保される。
- (2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件
  - ・外部援助資金の継続的な拠出がなされる。
  - ・予算措置および財源の確保がなされる。
  - ・本病院の適切な運営・維持管理がなされる。
  - ・本病院が適切に運営されるために必要な医療関係者等の人材が確保される。

**5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓**

アフガニスタン国では、技術協力プロジェクト「結核対策プロジェクト（フェーズ1：2004年度～2009年度、フェーズ2：2009年度～2014年度）」が実施されている。同事業を通じて、結核対策にかかる機関・人材のキャパシティの向上および各種ガイドラインや標準業務手順書等の作成がなされており、これら技術協力の成果を今回建設・整備される施設を運営する上で有効活用されることが肝要である。

**6. 評価結果**

- (1) 妥当性
 

結核を含む感染症対策は、アフガニスタン国開発戦略の中で重点課題とされており、また我が国の同国支援の重点分野でもある。また、同国には現在、多剤耐性結核のような重症の呼吸器感染症の患者を隔離治療するための2次、3次レベルの専門施設は存在しないため、本事業による施設の整備は急務であるといえる。よって、本事業は緊急性がありかつアフガニスタン国側の政策、開発計画と我が国およびJICAの支援方針に合致しており、妥当性は高い。
- (2) 有効性
  - 1) 定量的効果  
(プロジェクト全体計画の目標達成示す成果指標)

指標名	基準値（2010年）			目標値（2015年） 【事業完成3年後】		
	結核	マラリア	HIV/AIDS	結核	マラリア	HIV/AIDS
画像検査数／年	0	N/A	N/A	1,270	N/A	N/A
外来患者数／年	N/A	0	51	N/A	600	180
入院患者数／年	0	0	1	110	70	110
レファラル患者数／年	0	0	1	110	1,140	180

2) 定性的効果

- ・医療体制が強化され、診断、治療サービスの質的改善に寄与する。
- ・3大感染症に対する国家標準検査室の整備に寄与する。
- ・感染症対策の推進に寄与し、MDGsの目標達成に貢献する。
- ・3大感染症克服の啓発活動に寄与し、感染症対策の推進に貢献する。

**7. 今後の評価計画**

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6. (2) 1) のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

- ・事後評価                      事業完成3年後

以 上